



講義科目名称： 卒業研究

授業コード： 24301

英文科目名称： Graduation Thesis

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年次	10	必修
担当教員			
影本 浩、堀 勉、石川 暁、松岡 和彦、古野 弘志			
4年次	工学科船舶工学コース		
添付ファイル			
卒業研究ループブック_船舶.pdf			

授業概要	<p>各教員が提示する卒業研究テーマの中からグループを組んで一つを選び、指導教員の指導のもとにメンバーが協力・研究してその成果を論文にまとめる。卒業研究テーマ及び研究要領については、4年次オリエンテーションにおいて説明する。</p> <p>【学位授与の方針・教育課程編成実施の方針の対応する教育目標(配当年次)】 情キ3、船1、船2、船3、船4、船5、船7</p> <p>その他の年度については、2019年度以前入学生は2019年に掲示された内容、2020年度以降入学生は入学年の履修ガイドを参照すること。また、系統図も参照すること。</p>																				
授業計画	<p>卒業研究 2021年度の卒業研究テーマを以下に示す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(No.)(卒業研究テーマ)</th> <th>(指導教員)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2021-1 長方形断面を有する柱状船の浮心と安定性に関する研究</td> <td>堀</td> </tr> <tr> <td>2021-2 「雲の上水槽」に「集中波」を起こそう</td> <td>影本</td> </tr> <tr> <td>2021-3 貨物船の機関室艦装設計に関する研究</td> <td>松岡</td> </tr> <tr> <td>2021-4 低価格水中ロボットの利用拡大に関する研究</td> <td>松岡</td> </tr> <tr> <td>2021-5 洋上風車アクセス船の開発</td> <td>石川</td> </tr> <tr> <td>2021-6 遠伝発生による人工知能(AI)の生成と船体構造設計支援システムの開発(その2)</td> <td>古野</td> </tr> <tr> <td>2021-7 潮流下稼動用海中ロボットの中間ランチャ嵌合・制御機構の設計と製作</td> <td>古野、野瀬</td> </tr> <tr> <td>2021-8 水中ロボットの抵抗軽減と推進効率向上に関する研究</td> <td>松岡</td> </tr> <tr> <td>2021-9 航走姿勢を考慮した船体まわりの自由表面流れの計算</td> <td>石川</td> </tr> </tbody> </table>	(No.)(卒業研究テーマ)	(指導教員)	2021-1 長方形断面を有する柱状船の浮心と安定性に関する研究	堀	2021-2 「雲の上水槽」に「集中波」を起こそう	影本	2021-3 貨物船の機関室艦装設計に関する研究	松岡	2021-4 低価格水中ロボットの利用拡大に関する研究	松岡	2021-5 洋上風車アクセス船の開発	石川	2021-6 遠伝発生による人工知能(AI)の生成と船体構造設計支援システムの開発(その2)	古野	2021-7 潮流下稼動用海中ロボットの中間ランチャ嵌合・制御機構の設計と製作	古野、野瀬	2021-8 水中ロボットの抵抗軽減と推進効率向上に関する研究	松岡	2021-9 航走姿勢を考慮した船体まわりの自由表面流れの計算	石川
(No.)(卒業研究テーマ)	(指導教員)																				
2021-1 長方形断面を有する柱状船の浮心と安定性に関する研究	堀																				
2021-2 「雲の上水槽」に「集中波」を起こそう	影本																				
2021-3 貨物船の機関室艦装設計に関する研究	松岡																				
2021-4 低価格水中ロボットの利用拡大に関する研究	松岡																				
2021-5 洋上風車アクセス船の開発	石川																				
2021-6 遠伝発生による人工知能(AI)の生成と船体構造設計支援システムの開発(その2)	古野																				
2021-7 潮流下稼動用海中ロボットの中間ランチャ嵌合・制御機構の設計と製作	古野、野瀬																				
2021-8 水中ロボットの抵抗軽減と推進効率向上に関する研究	松岡																				
2021-9 航走姿勢を考慮した船体まわりの自由表面流れの計算	石川																				

授業形態	<p>それぞれの卒業研究テーマによって実験や計算、フィールドワーク等授業形態は様々である。</p> <p>【実務経験の活用】造船所での実務経験を持つ教員の卒業研究テーマを選択できる。</p> <p>【アクティブラーニング】有り。</p> <p>【情報機器利用】各研究室のPCとソフトウェアを使用する。</p> <p>【教育方法】学問への探求のみならず、社会で通用する人間力・コミュニケーション力及び社会への情報発信力の醸成も視野に入れた教育を行う。</p> <p>【成果物等の提出についての学生へのフィードバック】実験や計算、フィールドワーク等の結果については、ゼミ等を通して各教員から指導を行う。</p>
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・船舶工学、海洋工学、造船技術及び海洋関連技術を理解できる基礎学力と基礎知識の獲得 ・船舶工学、海洋工学、造船技術及び海洋関連技術の進歩に対する探求力の獲得 ・技術者として必要な人間力(責任性, 協調性, 積極性)とコミュニケーション力の獲得 ・技術者として必要な社会への情報発信力の獲得
評価方法	卒業研究記録に記録された研究への取り組み姿勢、中間発表会、卒業研究発表会、発表概要、卒業論文の内容によって総合的に評価する。特段の事情がなく発表概要や卒業論文の提出期限に遅れた場合、または、発表会で発表しなかった場合は不合格とする。
評価基準	<p>【2018年度以前入学生】</p> <p>評定は、優、良、可、不可の4種類をもってこれを表し、優は80点から100点、良は70点から79点、可は60点から69点、不可は59点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。</p> <p>【2019年度以降入学生】</p> <p>評定は、S、A、B、C、Dの5種類をもってこれを表し、Sは90点から100点、Aは80点から89点、Bは70点から79点、Cは60点から69点、Dは59点以下とし、S、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。</p> <p>詳細はルーブリックを参照すること。</p>
教科書・参考書	【参考文献】配属された研究室の過去の卒業論文
履修条件	<p>【前提となる授業科目】特に無し。自分が興味のある卒業研究テーマを選択すること。系統図を必ず参照すること。</p> <p>【履修条件】卒業研究の着手には卒業研究着手時点(3年次修了時点)で100単位以上修得していなければならない。</p>
履修上の注意	<p>【履修できない学年】2021年度以降入学生に対しては開設していない。</p> <p>【卒業研究記録提出】毎月、決められた日までに卒業研究記録を指導教員に提出すること。</p>
予習・復習	<p>【予習】選んだ卒業研究テーマに関する文献等勉強すること。</p> <p>【復習】実験や計算、フィールドワーク等の結果を取りまとめ、検討すること。</p>
オフィスアワー	質問などは、卒研室や各指導教員の研究室にて随時受け付ける。 掲示やAAシステムの情報も参照すること。
備考・メッセージ	特に無し。